長門の話題 Topics

没後80年金子みすゞ展
みすゞさん、おかえりなさい

童謡詩人金子みすゞさんが生涯を終えて80年が経過したことを記念し、「没後80年金子みすゞ展」がルネッサながと特設会場で7月24日から8月21日まで開催されました。

大阪、名古屋、東京、京都、横浜と巡回したこのみすゞ展では、新たに発見されたみすゞさんの少女時代の写真や、遺稿が記された3冊の手帳などの展示のほか、みすゞさんを愛する63人の著名人から寄せられたメッセージが展示され、期間中たくさんの人が来場されました。

7月24日(日)に行われたオープニングセレモニーでは、みすゞさんの娘の上村ふさえさんも出席されました。

▲展示をご覧になる上村ふさえさん

▼矢崎金子みすゞ記念館長、南野市長らによるテープカット

ながと夏フェスタ①汗汗フェスタ2011
3時間後のゴール目指し

8月7日(日)長門市日置の千畳敷で、汗汗フェスタ2011in千畳敷が開催されました。これは、MTBで千畳敷に設置された1周4、320mのコースを3時間で何周走ることができるかを競うもので、毎年西日本を中心に参加者が集まります。今年は620人が参加しました。

今回は東日本大震災への募金も集められ、その募金は東日本大震災被災者支援長門市市民会議に寄附されました。

神野勝選手の「こだましょうか」をアレンジした選手宣誓のあと、時折強く吹く風の中スタート、選手たちは懸命にゴールを目指していました。

▲3時間の長丁場に全員がスタート！

▼エイドステーションには、地元小学生も参加

ながと夏フェスタ②湯免温泉まつり
地域全体で盆を迎える

8月6日(土)、湯免温泉まつりが湯免ふれあいセンター駐車場で行われました。冒頭に三隅清風太鼓の和太鼓演奏、楽々団による演奏やカラオケなどのアトラクションが行われ会場は盛り上がりました。

バザー会場では焼き鳥や焼きそば、わたがしなどが販売され、家族連れなどたくさんの人出でにぎわいました。また、42型テレビやちょるる人形、羽なし扇風機などが当たる抽選会では、当選者が出るたびに大きな歓声があがりました。盆踊りでは全員で大きな輪を作り「湯免小唄」と「扇山」に合わせて踊りました。

ながと夏フェスタ③湯本温泉納涼盆踊り大会
行く夏を惜しみながら

8月11日(木)、湯本温泉街で毎年恒例の「湯本温泉納涼盆踊り大会」が開催されました。

盆踊り大会には、市内外の企業、団体など、例年を大きく上回る21チーム・約630人が参加。揃いの浴衣やハッピのほか、仮装による派手なパフォーマンスでまつりを盛り上げました。

そのほか、精霊流しや仕掛け花火が催され、踊っていた参加者も、このときは静かに行く夏を惜しんでいました。

また、地元で活躍中のバンド「F・ストリート」のライブや福引きも行われ、訪れた観光客などで賑わいました。

▼盆踊り大会には、浴衣で参加したチームも

ながと夏フェスタ④みすゞ七夕笹まつり
華やかな笹飾りに誘われ

▲みすゞ少年少女合唱団による合唱

▼参加者全員で盛り上がりました

8月6日(土)、仙崎みすゞ通りで「第13回みすゞ七夕笹まつり」が行われました。みすゞ通りの両側には、華やかな笹飾り約200本が立てられました。

祭りはみすゞ少年少女合唱団による合唱で幕を開け、仙崎小学校マーチングバンドのパレード、仙崎小学校児童の鯨歌、小さな舞妓さんの舞踊、長門ヒップホップダンス愛好会のダンスが披露されました。笹飾りと提灯で彩られた通りには、地元の人たちによる焼き鳥や天ぷらなどの出店が並び、祭りの雰囲気を盛り上げていました。

最後に参加者全員によるみすゞ音頭の総踊りにはたくさんの来場者が参加、みすゞ通りを踊り歩きました。

ながと夏フェスタ⑤油谷夏まつり

思い思いの言葉が響く

8月14日(日)、第41回油谷夏まつりが油谷総合公園で開催されました。

まつりは、恒例の大声大会「吠えスティバル」で幕を開け、小学校対抗の部で予選を勝ち抜いた人たちがその大声を競いました。日ごろのうっぷんをはらすものや今の心境など思い思いの大声が会場に響き渡っていました。

翌15日に順延された「楊貴妃花火ファンタジー」では、大音響の音楽とレーザー光線、そして炎がファンタジックな雰囲気を演出する中、次々に上がる色とりどりの花火が夜空を染めていました。

ながと夏フェスタ⑥みすゞ燦参SUN2011

みすゞの詩の世界を再現

8月1日(月)から28日(日)まで、「みすゞ燦参SUN2011」が行われました。

1日(月)から6日(土)までは、湯本温泉音信川一帯で「みすゞ星さんさく」が行われました。これは、みすゞが詠んだ詩の背景を湯本温泉に再現したもので、散策ポイントでキーワードを得て応募、豪華賞品が当たるというものです。かき氷や焼き鳥、射的や型抜きなどの出店もあり、参加者を楽しませました。

また、きらきら橋近くの倉庫壁面には、プロジェクトMによる巨大モザイク画が作られました。

▼「川床」ポイントでは音信川を眺めてくつろぎの時間を演出

長門市人権教育セミナー

人権尊重の生き方を広める

7月31日(日)、長門市中央公民館で第1回長門市人権教育セミナーが開催され、市民約150人が参加しました。

セミナーでは、講師として作家の門田隆将氏が、自身が取材した光市母子殺害事件の加害者・被害者の人権について講演を行いました。

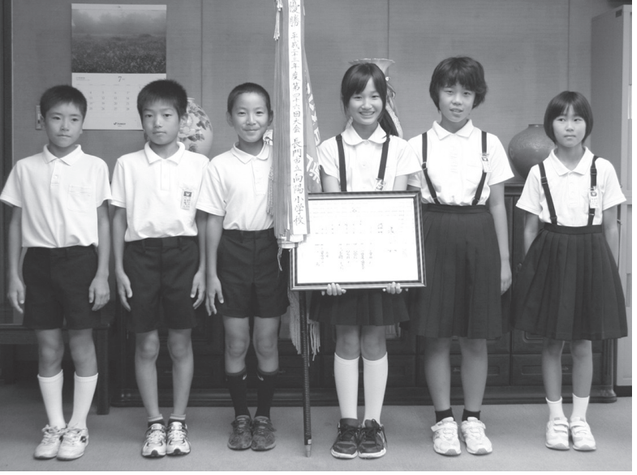
平和の鐘を鳴らそうin長門

鐘を撞いて平和を願う

7月31日(日)、油谷伊上の西光寺で「平和の鐘を鳴らそうin長門」が開催されました。

開会行事の後、全員で「わたしの平和宣言」を唱和しました。続いて2グループによる音楽演奏会があり、最後に全員で、平和な社会の実現を願って鐘撞きを行いました。

長門のPeople



左から釼物君、河田君、大田君、吉津さん、金子さん、三笠さん

ちょっと小耳に

交通安全自転車全国大会出場！

向陽小学校

7月2日(土)、山口市の山口県総合交通センターで行われた「第46回交通安全子供自転車山口県大会」に向陽小学校の児童が出場。団体の部で見事優勝し、東京都で開催された全国大会出場権を獲得しました。

この競技は小学生が4人1組で出場し、自転車の運転技術や交通ルールの知識を競うもの。交通規則などの知識が問われる「学科テスト」と、自転車で模擬コースを走り、安全確認や走行技術が審査される「実技テスト」の2種類のテストを行い、4人の合計得点で順位が決まります。

県大会で最初に行われた学科テストで、向陽小学校はほとんどミスをせず高得点を獲得。実技テストでも実力を発揮し、合計得点で2位のチームに400点以上の差を付ける圧倒的勝利となりました。

8月3日(水)、東京ビッグサイトで行われた全国大会では、各都道府県から集まったハイレベルな44チームの中で13位と大健闘しました。

■全国大会メンバー(敬称略)

吉津知香、大田和矢、釼物丈人、河田優人、金子愛佳、三笠日菜

市役所で行われた激励会のようす

東日本大震災被災地への支援状況について

東北地方太平洋沖地震に係る被災者支援長門市市民会議から

主な支援活動の状況

(7月以降)

■募金(8月17日現在)

◆日本赤十字社山口県支部長門市地区(市福祉課にて受付)

18、372、609円

◆山口県共同募金会長門支会(市社会福祉協議会にて受付)

4、896、871円

■救援物資　現在は募集を中止しています

■人的派遣状況　3月以降計20人を派遣(既報)

■被災者支援　行政支援を実施。市民会議からは災害見舞金などを支給しています。

今後の支援について

■募金・人的派遣

募金は日本赤十字社については9月30日まで、共同募金会は平成24年3月31日まで(8月23日現在)となっています。ボランティアとして被災地に行かれる場合は、市社会福祉協議会までお問い合わせください。

■被災地支援

◆東北地方物産展

日時　平成23年9月3日(土)　9時～16時

場所　長門市役所本庁南側駐車場

※物産展開催告知チラシを参照ください

◆みすゞの詩集の被災地小中学校への贈呈については、発送時期などを現地教育委員会と協議中

◆みすゞの詩朗読ボランティアの被災地派遣は、詩集の贈呈後を予定

市民会議事務局　福祉課福祉係　TEL 23-1245